


2月 行事予定

1	木		16	金	全校集会 身だしなみ指導(1・2年生) 3年生登校日②
2	金	第4回人権・同和教育HR活動(1・2年生) PTA選考委員会(18:30)	17	土	
3	土	公務員・医療看護模試(1・2年生)	18	日	第3回実用英検(二次)
4	日		19	月	身だしなみ再指導(〆切)
5	月		20	火	
6	火	校内マラソン大会(荒天順延)	21	水	
7	水	40分授業 校内マラソン大会予備日 1~3月分授業料(3年生)、2~3月分校納金(1~3年生) 口座振替日	22	木	学年末考査 3年生登校日③
8	木	推薦入試 家庭学習時間調査(~2/28)	23	金	「天皇誕生日」
9	金	3年生登校日①(郷土の文化に学ぶ体験学習) 第3回日本漢字能力検定	24	土	
10	土		25	日	
11	日	「建国記念の日」	26	月	
12	月	(振替休日)	27	火	
13	火		28	水	3年生登校日④
14	水	漢字テスト⑮	29	木	同窓会入会式 表彰式 記念品贈呈式 卒業式予行(午前)
15	木	学年末考査発表 交通安全登校指導			

3年生を対象に消費者支援講座を実施

1月16日、宇和島市消費生活センターから講師の先生をお招きし、「消費者トラブルに遭わないために」と題して、3年生が消費者支援講座を受講しました。講座では、成年年齢の引下げに伴う消費者トラブルを未然に防止するために気を付けてほしいことや、特にトラブルが多発している「特定商取引」における具体的な対処方法について、事例を交えながら分かりやすく教えていただきました。今回の学習を通して、生徒一人一人が「消費者」の権利と責任を自覚し、賢い消費者となることの大切さに気づかされる良い機会となりました。

トラブルに巻き込まれないためのポイント



- ① 軽い気持ちで契約しない
- ② うまい話に飛びつかない
- ③ ネットの情報に流されない
- ④ 契約をせかされてもその場で判断しない
- ⑤ 借金してまで契約しない
- ⑥ 消費者の味方になる知識を身につける

■特定商取引法によりクーリング・オフができる取引・期間

取引の種類	内容	期間
訪問販売	店舗外での取引(キャッチセールス・アポイントメントセールス・催眠(SF)商法などを含む)	8日間
電話勧誘販売	電話勧誘などによる取引	8日間
連鎖販売取引	マルチ商法による取引(店舗契約を含む)	20日間
特定継続的役務提供 ^(注)	エステティックサロン・語学教室・家庭教師・学習塾・パソコン教室・結婚相手紹介サービス(店舗契約を含む)・美容医療	8日間
業務提供誘引販売取引	内職商法・モニター商法による取引(店舗契約を含む)	20日間
訪問購入	消費者の自宅等に訪問し、物品を購入するいわゆる「押し買い」 ※本・CDなど対象外の物品あり	8日間

(注) 特定継続的役務提供は、契約金額が5万円を超え、かつ契約期間が2ヶ月(エステ・美容医療の場合は1ヶ月)を超えるものが対象



パーソナルスペースについて考えてみよう！

特別支援教育課長 高木昌子

よく耳にするパーソナルスペースについて考えてみたい。

パーソナルスペースとは、他人に侵入されると不快に思う空間（距離）の事を言います。仮に、パーソナルスペースへ侵入された場合、不安や緊張感が高まり心拍数が上がる傾向があるようで、一旦パーソナルスペースを侵害されると、その相手に対して嫌悪感や警戒心をなかなか解けないという状態になってしまいます。また、パーソナルスペースは相手との関係性に合わせて距離に違いがあると言われており、よく知られている距離は、密接距離（45cm以下）、個体距離（45～120cm）、社会距離（120～360cm）、公衆距離（360cm以上）の4つの分類です。

密接距離（45cm以下）

親子や恋人など非常に親しい間柄のみ許される距離で、45cm以下とされています。身体接触でのコミュニケーションが可能な距離で、気心の知れた間柄であれば不快感ではなく安心感を抱きます。逆に密接な関係でない人間がこの距離内に侵入してしまうと、嫌悪感や不快感を抱きやすいため注意が必要です。

個体距離（45～120cm）

親しい友人や知人とのコミュニケーションで用いられる距離で、45～120cmとされています。主に言葉でのやりとりを前提とした距離感ですが、軽いボディタッチ程度の身体的接触もできるでしょう。相手の動作や表情をしっかりと把握できる距離です。

社会距離（120～360cm）

職場の同僚や取引相手などに適応される距離で、120～360cmとされています。会話をするのにはある程度しっかりと発声する必要があり、身体的接触はできない距離です。仕事をする上では相手が不信感や警戒心を抱かないように、距離感を意識することが大切です。

公衆距離（360cm以上）

面識のない相手同士にとって適切な距離感が、360cm以上とされています。講習会やセミナーなどにおける、講習会やセミナーなどにおける、講師から参加者までの距離としては適切な距離感といえるでしょう。個人的な関係性のない人間がこの距離を超えると落ち着かない気持ちにさせる場合があるので注意しましょう。

他人との関係が上手くいかなくなったときは、自分のパーソナルスペースに目を向けてみましょう。他人との距離間が分かると、コミュニケーションの取り方にも変化が現れます。新しい関係を築くことができるかもしれません。また、他人のパーソナルスペースを考えることで、他人の思いに気付けることもあるでしょう。パーソナルスペースを理解することは、人間関係のストレスを減らしたり、自分自身を守ることに繋がっているかもしれません。生活の中で、意識してみませんか。